

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール 大垣駅前校・築樋拓真

問題【国語】

次の各文は、文学作品の冒頭部分です。それぞれ作品名と作者を答えましょう。

- ① 春はあけぼの。
- ② いづれのおほん時にか、女御更衣あまた侍ひ給ひけるなかに、いとやむごとなききはにはあらぬが…
- ③ あづまぢの道のはてよりも、なほ奥つかたに生ひ出でたる人…
- ④ 男もすなる日記といふものを女もしてみむとてするなり。

豆知識 雑学コラム

今に通じる平安文学

今日は有名な古典文学から出題しました。それぞれ作品名、作者名を答えることができたでしょうか。平安時代の文学作品というと、清少納言の「枕草子」や紫式部の「源氏物語」が有名ですよ。ほかにも和泉式部など平安時代の作家というと、女性が多いと気づくと思います。同じ時代のヨーロッパでは女王ですら、文字を読み書きできず、ましてや女性作家など皆無だったことを考えると、女性の作家が多いことはが日本文学の特徴だといえます。

なぜ、日本では平安時代に女性の作家が多かったのでしょうか。平安時代の日本では、女性が使う文字として「かな文字」が普及して、簡単に執筆ができたということなどが理由として



挙げられます。女性が自ら文字を書く文化があったので、当時は求婚するとき、互いに和歌をラブレターとして送りあい、相手から送られてくる和歌の内容にドキドキしていました。相手の反応に一喜一憂するなんて、好きな人とのメールやLINEのやり取りに一喜一憂する現代人に共通してますよね。

また、なぜ紀貫之が女性のふりをしたかということ、当時の男性の日記は仕事上の記録・報告を書くためのものだったのに対して、紀貫之が書きたかったものが女性の日記に書かれる自身の私生活についての内容だったからです。私生活について書いた日記を読んで作者に共感するのは、ブログやTwitterにいいねをする現代人みたいですよ。

平安時代の和歌が好きな人とのメールやLINEのやり取り、日記が日々の生活について書いたブログやTwitterだと思って読むと平安時代も身近に感じられると思いませんか？

【解答】

- | | | |
|-------|------|---|
| 紀貫之 | 日記 | ① |
| 喜原孝標女 | 日記 | ③ |
| 紫式部 | 源氏物語 | ② |
| 清少納言 | 枕草子 | ④ |